自動車整備科・一級自動車工学科　2025年　授業計画

時 期	２年B巡	単元	実習	教科名	検査２（２年点検）
科 目	検査	教科書等持参品	定期点検作業要領書	発行日	2024.4.1
			法令教本		
総時限	３２時限		実習ノート	教科担当	人見
必要時限	３２時限				石井

指導教員の実務経験　該当　非該当

自動車整備士として、自動車の定期点検の経験ある教員により定期点検基準及び自動車の車検整備の経験ある教員に自動車検査基準に則った指導をする。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

①自家用乗用自動車の法定２年点検が出来る。
②点検整備記録簿の記載事項、作成が出来る。
③自家用乗用自動車の法定２年点検の項目を理解する。
④検査ラインの検査機器を理解し、車両を検査出来る。
⑤自家用乗用自動車の法定２年点検と法定１年点検の項目の違いを理解する。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

①法定２年点検が出来るようになる。
②点検整備記録簿の記載事項、作成が出来るようになる。
③自家用乗用自動車の法定２年点検の項目を理解出来るようになる。
④検査ラインの検査機器の取り扱いを理解し、車両を検査出来るようになり、不具合箇所を調整出来るようになる。
⑤自家用乗用自動車の法定２年点検と法定１年点検の項目の違いを理解出来るようになる。
⑥法定２年点検項目以外でも不具合現象を確認でき、修復出来るようになる。
⑦法定２年点検を効率（動線）よく安全に作業出来るようになる。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

１）履修試験での学習評価　実技試験　５０点、筆記試験　５０点にて総合評価する。
　整備科、ＳＰＭ科　６０点以上で合格、工学科　７０点以上で合格。
２）出題試験項目

１．実技試験
①ブレーキ脱着。
②ワイパー脱着。
③ライト光軸調整
④口述試験

２．筆記試験
①検査ラインに関する筆記試験。
②作業手順に関するレポート課題
③記録簿作成

準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

自動車整備科・一級自動車工学科　　2024年度 授業計画

時 期	２年B巡	単元	実習	教科名	検査２（２年点検）

授業概要（時限ごとの主な授業内容）

時限	主な授業内容
1	導入/作業時の注意事項/1年点検と2年点検の点検項目の違い
2	検査機器の取り扱い
3	検査機器の取り扱い
4	検査ラインブレーキテスタ計算方法
5	2年点検点検方法(点検箇所の要領と判定)
6	2年点検点検方法(点検箇所の要領と判定)
7	2年点検点検方法(点検箇所の要領と判定)
8	2年点検点検方法(点検箇所の要領と判定)
9	2年点検点検方法(点検箇所の要領と判定)
10	2年点検実施（項目に分けて実施）/点検記録簿作成
11	2年点検実施（項目に分けて実施）/点検記録簿作成
12	2年点検実施（項目に分けて実施）/点検記録簿作成
13	スパークプラグ脱着説明
14	スパークプラグ脱着説明
15	スパークプラグ脱着説明
16	ブレーキ脱着練習
17	ブレーキ脱着練習
18	ブレーキ脱着試験
19	ブレーキ脱着試験
20	ワイパーゴム脱着説明
21	ワイパーゴム脱着練習
22	ワイパーゴム脱着練習
23	ワイパーゴム脱着試験
24	ワイパーゴム脱着試験
25	口述試験説明/試験練習
26	口述試験練習
27	口述試験練習
28	口述試験
29	口述試験
30	ライト光軸調整練習/検査標章説明、脱着体験
31	ライト光軸調整練習/検査標章脱着体験
32	筆記試験(検査ラインブレーキテスタ計算) 。

教科書、資料、備品類

資料、備品類	数量
C11	10
作業台（大）	10
パーツスタンド	10
インパクトレンチ	10
ホイールナット用 ディープソケット（21㎜）	10
排気ホース	10
トルクレンチ（200Nm）	10
フェンダカバー	20
フロントグリルカバー	10
ハンドルカバー	10
シートカバー	10
マットカバー	10
定期点検作業要領書	各１
法令教本	各１
実習ノート	各１
定期点検記録簿	
検査記録用紙	
サークルチェックシート	
オパシメーター	1